

インナーレッグニュース
2010年2月 Vol. 21のP5に弊社が掲載されました！！

「アパレルマイレージ」について



春の
あしおと



3年前から、「アパレル・マイレージ」「地産地消」をキーワードに事業展開している靴下企業がある。エムアンドエムソックス（大阪市港区弁天）がそれで、国産にこだわった商品展開を進めている。

同社の創業は1997年。もともと奈良の靴下メーカーに勤務していた南昌義社長が立ち上げた。大半は奈良県の協力



エムアンドエム
ソックス

3年前から掲げる「アパレル・マイレージ」

工場生産した商品で、パッケージには必ず「日本製」の文字と、生産地名を記載している。売り場でも、POPなどを通じて国産品であることをアピールする。

またホームページを通じて、国内で生産することにより商品運送時にトラックや飛行機などから出るCO₂の排出量を減らすとともに、検品の徹底や輸送コストの削減、底や輸送コストの削減、クイックデリバリーなど、安心・安全につながるメリットを消費者に提供する、その取り組みを宣言している。

奈良県出身の南社長は、「靴下は生産の裾野が広いから、地元で生産すれば各方面に雇用を生み出すことができる」「生まれた土地で働く、これほど幸せなことはない」と語っている。

素材調達、雇用、運送、販売、納税—あらゆる場面を通じて「国内でお金が還流するようなシステムを作れたら」。それが南社長の夢だ。